

「里中学校の史跡活用の取組」

1 学校名

薩摩川内市立里中学校

2 学年・人数

2年1組8人

3 日時・場所

- (1) 「甕アイランドウォッチング」に係るアイランドガイドの事前学習会
令和3年9月上旬～11月中旬にかけてふるさと・コミュニケーション科で6回。
- (2) 発表の日時・場所
令和3年11月19日（金）
「甕アイランドウォッチング」に係るアイランドガイド
薩摩川内市立東郷学園義務教育学校4年生39人

4 活用に取り組んでいる史跡の名称・時代・特徴について

- (1) 名称・時代
亀城跡：鎌倉時代，里麓武家屋敷跡：江戸時代
- (2) 特徴
〈亀城跡〉

承久の乱の後、甕島の地頭となった小川氏が築城したと言われている。城の麓には武家屋敷が建ち並び、城の中腹には日露戦争の戦没者の慰霊塔や、緊急時に村全体へ知らせる鐘が設置されている。江戸時代には一国一城令にもとづき、亀城が廃城となった。

〈里麓武家屋敷跡〉

郷土（ごうし）の住居跡として玉石垣の武家屋敷通りがある。江戸時代、郷土の住んでいた地域で、石垣をめぐらし、宅地はそれぞれ200坪余りの規模であった。当時の外城制度における郷土の生活と制度などを調べるにはとても大切な文化財となっている。2019年『薩摩の武士が生きた町～武家屋敷群「麓」を歩く～』の構成資産として登録された。

5 保存会や地域との連携の具体

ふるさと・コミュニケーション科の時間に、地域の方から亀城や里麓武家屋敷跡の歴史や由来について教えてもらった。その後、自分たちで調べ学習を行い、ガイドができるよう分かりやすい表現でのまとめ作業を行った。

6 活用の取組の工夫した点

アイランドガイドとして、島外から来た小学生に島をガイドするという取組の中で、事前にプロのガイドから史跡の説明の他、ガイドの仕方や表現、事故防止についてアドバイスを受けた。当日は、生徒が立てた計画どおりに児童を連れ里町内にある史跡を案内し説明した。

7 取組の様子（研究発表，創作劇等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・員等の感想・意見

【生徒】

- ・ 里の史跡等の写真や情報を事前に準備して説明したので、小学生の反応もよく、質問にも答えられた。小学生に里地域の事を知ってもらい、コミュニケーションもとれたので楽しかった。
- ・ 里の文化財等を調べ、クイズ形式で準備していたので、楽しく知ってもらうことができた。自分もさらに詳しく調べていきたい。
- ・ 時間が思ったより短かったり、児童がメモするのが大変だったりしたので、大切なことや知ってほしいことなどを決めてまとめておけばよかった。

【教員】

- ・ 案内するコース，場所，内容を考え，1時間10分のガイドを行った。里の地域について、生徒は自分の調べたことを丁寧に伝え、手応えをつかんでいたようであった。ガイドを通して自分たちの住む町の歴史や文化に触れることができ、有意義な活動だと思う。